

令和7年度 第3回 小牧市健康づくり推進審議会 議事録

日時	令和8年2月18日(水) 14時00分～15時10分
場所	小牧市役所本庁舎 601会議室
出席者	<p>【委員】(名簿順)</p> <p>高野 健市 小牧市医師会会長 三輪 雅一 小牧市医師会副会長 竹内 友康 小牧市歯科医師会会長 小島 英嗣 小牧市民病院副院長 夏目 有紀枝 名古屋経済大学人間生活科学部准教授 佐藤 史洋 小牧市立小中学校長 澁谷 いづみ 春日井保健所長 土屋 一義 小牧市地区民生委員児童委員連絡協議会 山田 勇 小牧市老人クラブ連合会副会長 清水 裕子 保健連絡員 加藤 陽子 一般公募市民 中島 早織 一般公募市民 青木 翔太 小牧市社会福祉協議会 総務課係長 林田 賢 市内企業労務担当</p> <p>【事務局】</p> <p>駒瀬 勝利 健康生きがい支え合い推進部長 永井 政栄 健康生きがい支え合い推進部次長 澤田 昌利 保健センター所長 三枝 尚子 保健センター所長補佐 吉村 智子 保健センター 予防検診係長 小川 真波 保健センター 母子保健係長 森 里加 保健センター 成人保健係長 森下 大輝 保健センター 成人保健係保健師 佐々木 泉 保健センター 成人保健係歯科衛生士 酒向 優 保健センター 成人保健係保健師 鈴木 尚紀 健康生きがい推進課長 倉知 佐百合 健康生きがい推進課 健康政策係長 宮田 祐子 健康生きがい推進課 健康政策係主査 田中 千月 健康生きがい推進課 健康政策係保健師</p>
欠席者	<p>3名</p> <p>堀尾 恭正 小牧市薬剤師会副会長 寺本 圭輔 愛知教育大学保健体育講座教授 松島 新 全国健康保険協会愛知支部</p>
傍聴者	0名
配付資料	<p>資料1 令和7年度小牧市健康づくり推進審議会専門部会の取組について 資料2 女性の健康づくりに関する取組について 資料3 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する取組について 資料4 健康経営支援に関する取組について 参考資料 愛知県公衆衛生研究会発表 「ライフステージを捉えた女性の健康づくりに関する取組」 当日資料 ・ 歯科関連事業所向けチラシ ・ 食育だより</p>
<p>1 開会 (1) あいさつ</p> <p>2 議題</p>	

(1) 令和7年度小牧市健康づくり推進審議会専門部会の取組について（資料1により説明。）

◆ 食育専門部会について

夏目委員)

- ・ 「みんなで結ぶ栄養の日 in こまき」について、今年度は小牧市、ヘルスラボ・こまき、名古屋経済大学の3者協力の体制であったが、次年度以降、年代別にターゲットを絞って開催するようであれば、より多くの団体に協力を依頼し、テーマごとに分担して実施する方法も考えられる。また、別案として、小規模のイベントを年に数回、テーマを変えて実施する方法もあると思う。
- ・ 開催場所であったラピオは、子ども向けスペースや大人向け運動スペースなど多様な利用目的があるため、そうした特性を活かし、効果的に情報発信していくことが望ましいと考える。
- ・ また、時間はかかると思うが、将来的には審議会の下位に位置する専門部会同士が連携し、小牧市全体としての健康づくりの場が作れると良いと感じる。
- ・ 食育だよりに関して、本審議会委員の皆様から見て気づいた点があれば部会長として部会にフィードバックできるため、ご意見をお願いしたい。

高野会長)

- ・ 部会の横のつながりは非常に大切であると感じる。
- ・ 夏目委員からは具体的なアドバイスをいただけたため、ぜひ実践してほしい。

◆ 歯と口腔の健康づくり専門部会について

土屋委員)

- ・ 学校現場の実態把握のために実施したフッ化物洗口・給食後の歯磨きに関するアンケートについて、把握できた課題には「水道の数や時間の確保、業務負担等によって実施が困難であることが多い」と挙げられているものの、課題解決につながる方向性が示されていないが、なぜなのか。

竹内副会長)

- ・ 水道増設について、市として既に予算を確保していると伺っている。しかし、学校側に実施する意欲があるかどうか最大の課題であると感じている。
- ・ 一方で、令和6年度には給食後の歯磨きを実施している学校がなかったものの、今年度に入り実施校は増加傾向にある。まずは給食後の歯磨きを定着させ、そのうえで次の段階としてフッ化物洗口の導入を進めていきたいと考えている。今後、フッ化物洗口の実施校も増えていく可能性がある。

事務局)

- ・ 学校ごとに児童数や設備（水道の数など）が異なるため、すべての学校に一律の方法で同時に取組を進めることは難しい状況がある。そのため、学校の実情に応じて可能なところから段階的に進めており、結果として実施校は増加傾向にある。
- ・ 取組の中心となる養護教諭は人数が限られ業務負担が大きいいため、負担軽減を目的に手順書や動画などのツールを作成し、他の教職員も対応できる体制づくりを進めている。今後も部会として、学校現場における歯・口腔の健康づくりに関する取組を推進するため、検討を続けていく。

高野会長)

- ・ 最終的な目標は子どもの歯・口腔の健康向上であり、その達成度を測るためにも、一定期間経過した段階で「取組開始時との違い」についてどのように報告していく

か検討いただけるとありがたい。

中島委員)

- ・ 子どもは学校で管理されているが、大人は自分で歯科健診へ行けるかが大きな課題であると感じている。
- ・ 3月にサロンでオーラルフレイルの講座があると聞いたが、サロンは高齢者中心になってしまい、働き盛りの人にどう興味を持ってもらうかが難しいと感じている。
- ・ そもそも痛くならないと歯科に行かない人も多く、イベントにも来ない、SNSも見えない層には情報が届きにくいいため、伝える難しさを強く感じている。
- ・ 民生委員として町内の役員会や総会に参加する機会があり、出席率も高いので、そういった場でチラシを配布するなどすると、直接アプローチができるのではないかと考えている。
- ・ 自分が委員を務めているこの専門部会では、オーラルケアに取り組む社員は業務効率が上がるといった話もあり、こうした良い情報は多くの人に知ってもらいたいと思っている。

高野会長)

- ・ 中島委員の意見を参考に、オーラルフレイルの啓発をする方法を改めて検討してみていただきたい。

◆ 糖尿病対策専門部会について

山田委員)

- ・ 中央図書館イベントスペースで開催した出前講座について、平日の開催では人が集まりづらいのではないかと。今後開催する講座についてタイミングを検討していただきたい。
- ・ 自分が所属する老人クラブで、昨年12月16日に保健センターによる糖尿病予防教室を受講した。特に食生活で心がけるポイントを中心に講義をしていただき、大変勉強になった。

事務局)

- ・ いただいたご意見を参考に、今後も取組を進めていきたい。

高野会長)

- ・ ラピオ1階には、買い物を目的に来店する人が多い。買い物に来たついでに講座が行われていて、ふらっと立ち寄って話を聞いて帰れるような仕掛けがあっても良いのではないかと。

加藤委員)

- ・ 11月9日に開催された小牧市民病院・糖尿病内分泌内科の落合医師による講義を受講した。糖尿病の方が足を切断するに至った事例など、非常に有意義な内容であった。また、イベントにあわせて血糖値の測定もでき、とても良い機会だった。今後もぜひこのようなイベントを継続して実施してほしい。

青木委員)

- ・ 落合医師による講義には40名以上が参加されており、参加者が多かったように思う。その方の属性はどのようなようであったか。

事務局)

- ・ 世界糖尿病デーに合わせて開催したイベント参加者のアンケートでは、参加者の約7割が女性で、60～70歳代が半数以上だった。
- ・ 実際に参加者から話を聞くと、「血糖値が高いと言われて気になった」「この情報が

目についたから来た」という声が複数あった。このことから、完全な無関心層というより、何らかのきっかけで関心を持った方の参加が多かったと考えられる。

3 報告

(1) 女性の健康づくりに関する取組について（資料2により説明）

高野会長）

- ・ 骨密度の低下予防については若年層からの対策が必要であるものの、若年層への啓発はなかなか難しい面もあると感じる。今後も継続して取組を進めてほしい。

(2) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する取組について（資料3により説明）

(3) 健康経営支援に関する取組について（資料4により説明）

竹内副会長）

- ・ 小牧市では、いくつかの企業を対象にセミナーと歯科健診を組み合わせた事業を歯科医師会が実施している。本来は健康診断に歯科健診が含まれるのが望ましいが、現在義務づけられているのは医科健診のみであり、歯科の導入は事業所の判断に任されている状況である。
- ・ 事業所での歯科健診が広がることが期待されるが、国の制度が整うまでの間に、少しずつ歯科健診の実施企業が増えていくなどの動きがあると良いのではないかと考えている。

林田委員）

- ・ 自社では、女性の健康づくりや高齢者向けの取組を企業内で継続して実施している。女性の健康づくりに関しては、令和5年度から3年連続で啓発を行っており、令和7年度は小牧市保健センター協力のもと初めて対面での参加型セミナーを実施し、参加型が特に好評だった。健康経営の一環として今後も継続したいが、自社以外の企業への波及がまだ十分でない点が課題であると認識している。企業向けの健康経営として他社へのPRや連携にも力を入れ、タイアップして取組を広げていきたい。
- ・ 高齢者については、エイジフレンドリーの観点から安全に配慮した働き方を検討しており、現在、安全衛生方針に盛り込む作業を進めている。健康寿命が延伸することで、元気に働いた後の人生も充実したものになると考える。今後も協力させていただきたい。

高野会長）

- ・ 市内企業の労務担当者を集めて会議のような場を設けることも良いのではないかと。健康経営の考え方が広がってきていることを踏まえ、このような機会の検討をお願いしたい。

4 その他

- ・ 議事録を作成後、皆様に確認いただいたのち公表したい。
- ・ 今回の会議が、委員の皆様の任期最後の会議となる。これまでの審議へのご協力とご助言に深く感謝する。
- ・ 本年に入り、市内で2件の交通死亡事故が発生している。交通事故を他人事とせず、日頃から十分にお気を付けいただきたい。

5 閉会